



EMERGENCY RESOLUTION ON THE DEMOCRATIC REPUBLIC OF CONGO

コンゴ民主共和国に関する緊急決議

第 29 回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012 年 11 月 27 日 - 30 日、南アフリカ・ダーバン
以下の緊急決議を採択

この 6 カ月近くの間、コンゴ国民と全世界は、内乱の形を装った隣国からの甚だしい人権侵害の再開をなすすべもなく傍観してきた。

この内乱は、侵略地域の富を支配し、コンゴ国民と国際社会全体の環視の中で白昼強盗を続けようとする隣国の密かな野望の表われであることに留意し、

この内乱を後押しする者たちは、自分たちの密かな野望を満たすために、権力に預かりたいという国民の一部の当然の思いを利用して、コンゴに干渉し、不安定化しようとしていることを考慮し、

この状況は同国の労働者の生活を悪化し、彼らの生活・労働条件の悪化をもたらし、さらなる人権侵害、特に戦時の女性に対する暴力などへの道を開くことに留意し、

同じ国民の中での紛争は対話によって解決できること、そして政府はすでに交渉を誠実に申し出ていることを強調し、

反乱者と政府との間ですでに調印された協定が遵守されなかったことが、反乱者の憤りを増加させたことを考慮し、

コンゴ政府に対して、国が大混乱に陥るのを避けるために、反乱者とあらゆる政治的指導者並びに市民社会との対話を再開するために可能なあらゆることを行うよう強く訴える。

すべての反政府勢力に対して、対話を受け入れるよう求める緊急アピールを開始する。

彼らはたとえ闘いに勝利しても、新政府を合法的なものにするには敗者との交渉を余儀なくされるので、彼らの正当な目的を成功させるには対話は不可欠である。

人権擁護者としての PSI は全加盟組合に対して、問題が完全に解決するまでノースキヴの組合 SOLSICO と組合員が彼らの生活条件に耐えられるよう手助けするために、彼らに対する連帯を強化することを勧告する。

国連に対して、この攻撃に関与する国々に対してコンゴ国民に対する卑劣な野望を捨てるか、さもなければ自国の加盟組合労働者によって彼らの野望が阻止される事態を招くことになることを要請する。

コンゴの全加盟組合と公共部門組合に対して、この戦争を防ぐために動員することを勧告する。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと